資料2-1

SUP2030の概要

【目的と方向性】

- これまでの10年間の上で、さらに魅力的に発展するための方針及び行動計画。
- 来る100周年を見据えた方向性を示す。

【SUP2030のもとでの取り組み】

- 引き続きハード・ソフト両面から取組を強化し、**国立公園ならではの魅力的な滞在体験を提供**すると同時に、**地域の自然と文化の維持・再生に貢献**。

- 利用者の数を増やすだけでなく、**満足度を高め滞在時間を延ばす**ことで、利用の質的向上と地域経済の持続性への貢献を図る。

- 国立公園区域の内外を問わず、圏域を利用者が**周遊**し、満足できる体験を提供する。

- ソフト面の課題への対処に当たっては、満喫プロジェクト地域協議会が主体的な役割を果たす。**課題を特定し、地域間での学びあいや実践的なプログラムを通じ、改善**を重ねる。

- 実施する取組には**良好な自然環境を保全するための取組**も含む。

- **地域別指標**を設けてきめ細かく状況を把握するとともに、実施結果や課題については「**国立公園保護管理レポート**」にまとめて「**見える化**」を図り、実施と改善のサイクルを回す。



大山隠岐国立公園
ステップアッププログラム 2030

DAISEN・OKI　NATIONAL PARK
STEP UP PROGRAM　2030



神話と
山岳信仰が息づく
暮らしとともにある
山・島・海



大山隠岐国立公園
満喫プロジェクト地域協議会